



ーグローバル人材育成プログラムー

〈2021年度 第2回〉

グローバルリーダー養成ワークショップ

(Zoomオンライン開催)

- ◆日程： 2022年2月7日(月) 9:30~15:30 (途中昼休憩1時間) 【講義】
- 2月8日(火) 9:30~15:30 (途中昼休憩1時間) 【講義】
- 〔 2月9日(水) 最終日のプレゼンテーションに向けた準備
のためのグループ毎のホームワーク (講義なし) 〕
- 2月10日(木) 9:30~15:30 (途中昼休憩1時間) 【講義】

◆対象：グローバルな環境でビジネスを遂行する立場にあるマネジャークラスの方、海外駐在(予定)の方

近年、VUCA (V変動性、U不確実性、C複雑性、A曖昧性)の高まりによってグローバルビジネスの環境変化が急速に進んできましたが、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大という新たな状況が加わって、変化の大きさとスピードに拍車がかかっています。

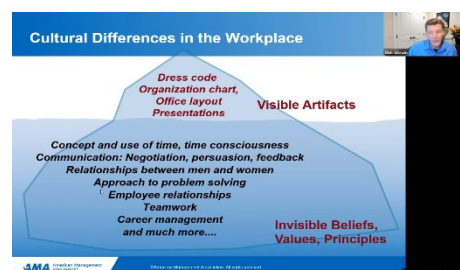
従来より、グローバルな環境で業務を遂行するビジネスパーソンには、①未来を戦略的に洞察し現在の行動と未来を結び付ける力、②外部環境の変化に機敏に対応できる柔軟性、③これまで以上に迅速に意思決定し実行する能力、④素早く新しいことを学ぶラーニングアジリティ、⑤離れた場所で勤務しているチームメイトとの効果的な協働力、⑥勤務状況/環境が異なる相手に対する共感力、⑦異なる背景や価値観の人材を率いるグローバルリーダーシップなどが求められていましたが、現下の環境では、特に、協働力、共感力、グローバルリーダーシップが、必須の基礎力として重要性が高まっています。

本ワークショップにおいて、参加者はオンライン環境下で行うビジネスを英語を用いて疑似体験しながら、上記のビジネス基礎力を学びます。具体的には、架空の米国企業が日本に進出してビジネスを展開することを想定し、そのうえで課題となるマーケット戦略の策定や、組織・人材マネジメントの実践などを、アクションラーニング(※3ページの説明参照)を用いて体験します。

全4日間(各5時間)のオンラインツールを活用したインタラクティブセッションやグループワークを通し、様々なアイデアや気づきを得ます。また、セッションに必要な知識や情報をプレワークで学び、受講者同士のみで行うファイナルプレゼンテーションの準備を4日間のうち1日を使って行います。セッション最終日には、米国本社のエグゼクティブにプレゼンテーションをするという設定でビジネス提案を行います。

講師は、米国を中心に多くのグローバル企業でグローバルリーダー育成に従事している、Dr. Donald Gilmanが担当します。

※写真は2020年度ワークショップの様様



目的

- 国内や社内だけでなく、国外や社外にも目を向け、視野を広げる。
- 異なる文化を理解し、バーチャルな環境下において相手と信頼関係を築くためのノウハウを学ぶ。
- 変化を避けるのではなく、率先してリードする必要性とその方法を学ぶ。
- 日本と海外におけるマネジメントスタイルの違いを理解し、有効な対処方法を見出す。
- グローバルなビジネス環境において、“発信”することの重要性を認識する。
- アイデアを相手に納得させるためのプレゼン力を向上させる。
- 異業種の参加者と様々な意見を共有し、新たな気づきを見出す。

アウトライン

日程	内 容	
事前	プレワーク (事前課題)	<p><Watching the Video> <Reading></p> <p>本ワークショップの準備として、コロナ後の環境で必要とされるグローバル・リーダーシップ・スキルに関連するビデオを視聴いただき、また、記事も読んでいただきます。</p> <p><その他></p> <p>自身の行動スタイルに関する事前評価を行います。また、本ワークショップで得たい成果と直属の上司から期待されている成果を提出していただきます。</p> <p>※別途実施要領をお送りします。</p>
第1日	イントロダクション	<p>本ワークショップの目的と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ バーチャル環境におけるグローバルリーダーシップのコアスキル ➢ ワークショップの構成とファイナルプレゼンテーションの概要 ➢ [ディスカッション]急速に変化する環境と、それがグローバルリーダーにとって何を意味するのかについて
	モジュール1	<p>英語でのバーチャルコミュニケーションスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ バーチャルビジネスカンパセーションの基本(既存の表現、新しい表現) ➢ バーチャル環境で誤解されないようにするためにアサーティブな対応をする:バーバルとノンバーバルメッセージ(ボイカル、ビジュアル) ➢ オンラインで効果的なブレインストーミングを行う ➢ スモールトーク - 受け入れられる話題と受け入れられない話題
	モジュール2	<p>バーチャル環境における効果的なマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ マネジメントスタイルを知る ➢ モチベーションと影響力、行動スタイル ➢ コンフリクトマネジメント ➢ 成長を促す権限委譲
第2日	モジュール3	<p>バーチャルチームと異文化チームをリードする</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ バーチャルチームをリードする ➢ 異文化チームをリードする ➢ 異文化体験演習(異文化体験とシミュレーション)
	モジュール4	<p>変化をリードする</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ チェンジマネジメントとは ➢ 変化に対する反発に対応する ➢ グローバルに分散したチームで率先して変化をリードする

	モジュール5	バーチャルおよび対面でのプレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ▶ バーチャル環境でのビジネスプレゼンテーションスキル
第3日	ホームワーク	最終日のファイナルプレゼンテーション準備を、チームで行う 【講義はありません】
第4日	モジュール6	アクションラーニングと、ファイナルプレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ▶ アクションラーニングとプレゼンテーションワーク ▶ ファイナルプレゼンテーション
	モジュール7	アクションプランニングとラップアップ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 継続的な学習と改善のためのアクションプラン作成 ▶ ラップアップ

WHAT IS ACTION LEARNING?

アクションラーニングとは、実際の問題を取り上げ、その解決策について検討・立案していくビジネスシミュレーション方式の学習法です。アクションラーニングでは最適な解決策を考えることも重要ですが、むしろ解決策を立案していくまでの過程が重要で、様々な検証や他者との議論を通じて、発想の転換や気づきを生み出します。本プログラムでは知識の習得を行った後に、架空の会社のケースを用いたアクションラーニングを通して、実践力向上を図ります。

■本ワークショップは、アメリカンマネジメントアソシエーション(AMA)のプログラムで構成しています。AMAは、1923年に米国で創設されたマネジメント研修の分野で世界を代表する国際教育研修機関です。現在日本では、クインテグラルの社名にて、AMAのサービスを提供しています。

講師

Dr. Donald Gilman (クインテグラル AMA 講師)



【略歴】米国カリフォルニア在住。技術経営の理学修士、組織変革で博士号を取得。General Motors や Robert Bosch GmbH において、専門的な技術指導やマネジメント業務に従事。Robert Bosch ではドイツ勤務を経験。現在はグローバル実務経験を活かし、世界各国でグローバルリーダー育成に注力している。

【Donald Gilman 講師 Web サイト】

<http://www.dongilman.com/>



参加要領

- ◆ 使用言語： 英語 (TOEIC の目安：650 点以上)
(第3日のホームワークを除き) 講義およびグループディスカッションは全て英語で実施します。
- ◆ 参加費： 一人あたり 132,000 円 (本体 120,000 円 + 消費税 12,000 円)
- ◆ 定員： 30 名 (原則、先着順)

参加者の声

■全体の感想■

- オンライン会議が増えている昨今の状況を踏まえた実践的なコミュニケーションスキルを学ぶことができた。アメリカだけでなく世界各国の人々とのコミュニケーションをいかに円滑に図るかというまさにグローバルな視点での講義だった。
- チームメンバーの個性、モチベーション、バックグラウンドなどを理解し、コンフリクトを想定して対応する重要性を改めて認識できた。グローバルなマネジメントではより高いスキルが求められることが分かった。
- 全て英語かつオンラインということで不安だったが、講師の発音や使用する語彙も分かりやすく、講義内容を十分に理解することができた。とても充実した時間だった。

■内容について■

- コミュニケーション、異文化理解、リーダーシップ、それぞれの要素がうまくミックスされたプログラムとなっており、業務に活かせる実践的な内容だった。
- リーダーシップを体系的に学ぶことができた。行動スタイルやモチベーションは今まで意識していなかった部分なので、今後のチームマネジメントに活かしていきたい。
- 異文化・異なる人種間での文化的考え方の違い・慣習の違いを体系的に学ぶことができた。
- グループセッションやアクションラーニングもあるインタラクティブな講座で、能動的に取り組むことができた。
- 講義を通じて得た学びをグループワークで実践する過程、グループ発表、発表に対する講師からのフィードバック、のサイクルにより学びが一層深まった。

■講師について■

- 自身のグローバルな体験事例を踏まえた説明も多く、講義内容の理解が深まった。日本にも詳しく、日本とグローバル（日本以外）の違いの説明も説得力があった。
- 講義の進め方や受講者への対応が非常に肯定的・前向きで、まさに講義で教えていただいた「アサーティブ」のお手本だった。とても楽しい講座だった。
- 受講者のレベルを考慮した単語選定やスピード設定で話されていた。今後のグローバルビジネス推進に向けた励ましもいただき、モチベーションが向上した。

主な参加企業（2011年度～2021年度第1回）（五十音順：会社名は当時のもの）

曙ブレーキ工業／旭化成／旭硝子(AGC)／朝日航洋／アジレント・テクノロジー／あすか製薬／梓設計／アフラック生命保険／イオン／伊勢化学工業／伊藤忠商事／ヴィエムウェア／NTT 国際通信／NTTコミュニケーションズ／NTTデータ／NTT リミテッド・ジャパン／大塚製薬／大林組／オクサリスケミカルズ／鹿島建設／キヤノン電子／麒麟ホールディングス／クインテグラル／KDDI／建設技術研究所／鴻池運輸／神戸製鋼所／小松製作所／酒井重工業／サッポロビール／山九／JSR／JFE エンジニアリング／静岡ガス／昭和電工／昭和電線ケーブルシステム／新生銀行／新東工業／新菱冷熱工業／スズクホールディングス／住友ゴム工業／住友商事／住友ベークライト／住友林業／セガ／セガサミーホールディングス／大成建設／大日本住友製薬／太平洋セメント／大鵬薬品工業／タス／中外製薬／千代田化工建設／TIS／TDK／帝国ホテル／帝人／東京電力ホールディングス／東燃ゼネラル石油／東陽／凸版印刷／トピー工業／中日本高速道路／日揮／日揮グローバル／日建設計／日鉄興和不動産／日本経済団体連合会／日本工営／日本触媒／日本通運／日本バイリーン／日本フェルト／日本メトロニック／日本ユニシス／パナソニック／バンドー化学／日立コンサルティング／日立ビルシステム／ファイザー／フコク／フジタ／富士電機／HOYA／前田建設工業／丸紅／三井金属鉱業／三井住友海上火災保険／三井造船／三菱ケミカル／三菱ケミカルメタクリレート／三菱重工業／三菱商事／三菱製鋼／ミライト／山田ビジネスコンサルティング／ユアサ商事／郵船ロジスティクス／横河電機／ライオン／ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ／リコー

【お申込み・お問合せ先】

経団連事業サービス 研修グループ

E-mail: global@keidanren-jigyoservice.or.jp
TEL: 03-6741-0042 / FAX: 03-6741-0052



2021年度 第2回「グローバルリーダー養成ワークショップ」参加申込書
【2022/2/7~2/10 開催】

※英文も記載願います (英文名刺の拡大コピーの添付でも結構です)

会社名		
Company		
参加者氏名		
Name		
所属部署		
Department		
役職名		
Title		
TOEIC 点数	点	<input type="checkbox"/> 未受験 (口にチェックして下さい)
英語力に関する補足 ※海外経験、業務での使用頻度など		
住 所	〒	—
(請求書送付先)		
*テキスト送付先を上記と別に指定される場合には、必ず下記にもご記入ください。		
住 所	〒	—
(テキスト送付先)		
電話	FAX	
E-mail		
メッセージ欄		
ご連絡担当者 *ご参加者と異なる場合のみご記入ください。		
ご氏名:		
所属部署:		
電 話:	FAX:	
E-mail:		

複数のご参加を希望される場合は、1名分毎にご記入ください。

参加申込書受領後、請求書をお送りいたします。

※キャンセル料: (但し、日数は営業日。土日祭日は日数に含まれない)

・開催日10日前~2日前まで 26,400円 (1名様分・税込)

・開催日前日・当日は、参加費の全額を申し受けます (配付資料は後日ご送付)

※お預かりした個人情報は、経団連事業サービスの個人情報保護規程に基づき、安全かつ適正に管理いたします。